

# 高知の食と酒 ×よさこい

参加  
無料

2021.11.27 **土** ON LINE ▶ 18:00~

よさこい移住応援隊のメンバー  
をゲストに、高知での暮らしを  
語ります！



## よさこい関係人口 ONLINE TALK

### VOL.2 高知の食と酒×よさこい

よさこい祭り発祥の地である高知市。

よさこいをきっかけにした移住「よさこい移住」をした人たちが語り合う、  
オンラインイベント「よさこい関係人口 ONLINE TALK」を開催しました。

高知市の魅力は、よさこいだけじゃない！

今回のテーマは、高知といえば食！そしてお酒！

そんなトークイベントの楽しく賑やかな様子をレポートします！

# よさこい関係人口 ONLINE TALK

## VOL.2 高知の食と酒×よさこい

### いよいよ始まります！

コロナ禍における今年度の新たな試みとして、オンラインでのよさこい移住応援隊によるトークイベントを開催しました。

当日は定員 20 名のところ、37 名に応募いただきました。

当選した 20 名の皆さんには、事前に高知の晩酌セットをお送りし、高知の食と酒を共に味わい、高知の魅力をみんなで分かち合いました！

会場は高知市内の居酒屋さんの一室を借り上げ。高知の夜の雰囲気伝わったのではないのでしょうか。

まずはトークいただいた応援隊の皆さんをご紹介します。

### ～参加メンバーのご紹介～



岡内 諭さん  
(香川県出身)



芳村 百里香さん  
(奈良県出身)



大村 耕作さん  
(静岡県出身)



足立 美恵さん  
(栃木県出身)



堀内 亮太さん  
(大阪府出身)

## よさこいならではの乾杯の発声

まずは、おなじみの掛け声でカンパ〜イ！

カンパイ よさこい よさこい イエ〜イ！

いよいよ始まりました！

最初に、オンラインならではのコミュニケーションツールであります、チャットの練習も兼ねて、参加者の皆さんに質問してみました。

お題は「よさこいを初めて見たのはどこですか？」

東京のスーパーYOSAKOIなどが考えられますが、参加者からは、

「桂浜」

「帯屋町」

といったコメントが寄せられました。

応援隊からは、

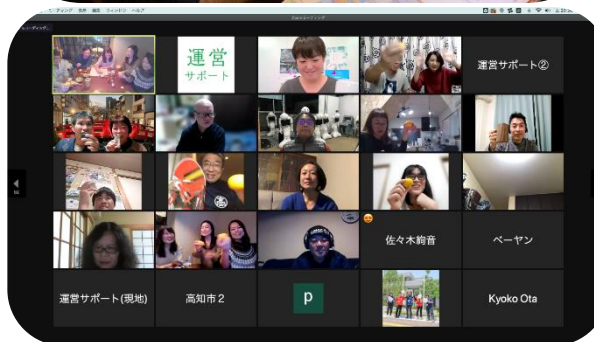
「踊り手からすると、よさこいはぜひ帯屋町の演舞場で見てもらいたい！」

「追手筋本部競演場で踊ってテンションが上がった後に、帯屋町の演舞場で踊るのが最高！見るのも最高！」

「そして、うちわおじさんにも会えます」

（このオンラインイベントにも「よさこい応援舞」のうちわおじさんにご参加いただきました。ありがとうございました！）

29年前（1992年）に初めて踊った岡内さんからは「当時、ひろめ市場はなかった．．．」という小ネタも。



## 高知の食①「ぬた」

### 緑色の液体が…

今回のテーマの一つである「高知の食」。

参加者の皆さんから事前に回答いただいたアンケートでは、「カツオのたたき」に興味がある、という方が多かったです。

さて、登場しましたお料理、これは何でしょうか？  
ちなみに、カツオではありません。

新鮮なお刺身の上にどろっとした緑色の液体  
が・・・。  
この液体、「ぬた」といいます。



「ぬたは高知のソウルフード？高知のバーニャカウダ？」  
「高知のスーパーでも売ってますよ。」  
「しょうゆより、ぬたをかける方が多いかもしれません。」  
「天ぷらにも合うらしい。」  
「赤い刺身にここまで緑をかけるの？というぐらいかけたりします。」

そんなぬたにまつわるお話をいただきましたが、「ぬた」とはそもそも何でしょうか？  
ぬたは葉にんにく、白みそ、砂糖、お酢ですりつぶしたもののなんです。

ではいよいよ「実食」！

大阪代表の堀内さんが食レポします！

「うん！くどくなくて、さっぱりしていて脂身のある魚にすごく合いますね！」  
さすがです！しっかりと「ぬた」を食べた感想を伝えていただきました！  
「脂がのっていると醤油につけるとはじくけど、ぬたは味がしっかりつくんですね。」  
「これこそマリアージュ（魚とぬたの？）！」  
というご意見も。

## 高知の食②「カツオの塩たたき」

高知といえばやっぱりコレでしょう！

お次は一番人気の「カツオのたたき」をご用意しました！

皆さん、たたきは何で食べますか？

「塩」か「ポン酢」か、はたまたそれ以外か。  
応援隊からは「塩でしょ」、「いや、にんにくわさ  
びでしょ」、という一種の論争が巻き起こりました。



さて、たたきは何で食べるか、参加者の皆さんにアンケートスタート！

結果は！？どうやら「塩」が多いようですねえ。

応援隊からは

「味噌をつけて食べる方も昔はいたらしいですよ。」

「たたきは紫色のイメージだったが、高知のたたきは赤いし分厚い！」

「新鮮じゃないと塩たたきは美味しくないんですよね。」

皆さんも、ぜひ高知で食べてみてください！

では「実食」。

食レポは、芳村さんにさせていただきました。！

ちょっとわさびをつけて。女子とか関係ない！にんにくもいきます。

「これは新鮮で美味しい！魚の臭みがまったくない。肉厚なのがまた良い！」

横に添えてあるのは「もろきゅう」。

ちなみに「ちくきゅう」は、ちくわの中にまるごときゅうりを入れるのが高知流。そんな小ネタも披露いただきました。

きゅうりも高知の特産なんですよ。

「にんにくはもう日常のにおいです。お昼ご飯にニンニク食べても気にしない、そんな高知です。」

岡内さんにも食レポさせていただきました。カメラの前でカツオのたたきを見せつけながら、

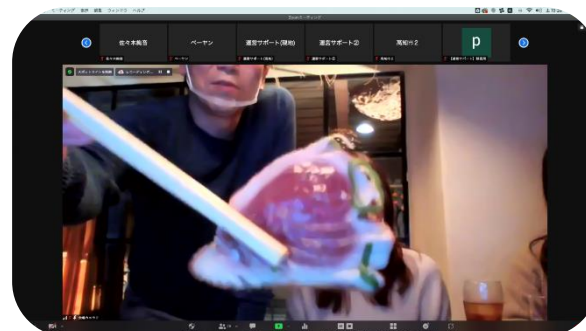
「私、家でもたたきをします！表面をバーナーで炙って、居酒屋さんでもらった藁で香り付けするんですよ。」

と、たたきに対する愛を語っていただき「実食」！

「まずは香りを味わい、次に口の中に入れると最初に舌が香ばしさをとらえ、その後に塩がきて、カツオがどーんときてからニンニクがほわ〜んと来る。もう最高です！」

完璧な食レポ、ありがとうございました。

「高知ではバーベキューでもカツオの藁焼きをやるんですよ。貝も焼いたり。」



チャットでは、ポン酢とすき焼きのたれを混ぜる、ガーリックハーブも合うなどのコメントもいただきました。

## 高知の酒①「酔鯨」と「ユズちょこ」

### 今日は一風変わった呑み方で

食の話題に事欠かない高知ですが、そろそろ高知のお酒をご紹介します。

ご用意した一升瓶は、高知市にも酒蔵がある「酔鯨」のお酒です。

「酔鯨」は、クジラのしっぽのラベルが有名で、海外でも近年、大変人気があるお酒になっています。

今日は、少し変わった呑み方をしてみたいと思います。

高知の特産であるユズの皮をお猪口にします！

中をくり抜いて、皮の部分をお猪口にして、お酒を注いで。

それでは2回目の乾杯！（高知の人は本当に乾杯が好き）



カンパイ よさこい よさこい イエ〜イ！

「今日、初めてユズちょこで飲みましたが、これはなかなかユズの香りがすごいですね。」

「ユズちょこ。ユズチョコ？」

「熱燗でもいいかもしれませんね。皆さん、ぜひ試してみてください。」

ここで高知のお酒の特徴についてお聞きしました。

「高知のお酒といえば、淡麗辛口。全国の中で一番辛いのは高知だと思います。それでいて、すっきりして、豊潤で薫り高いお酒がたくさんあります。そして、種類も豊富なんですよ。」

## 高知の食③「長太郎貝」

### カラフルな貝

ここで突然出てきましたお料理、燃えてます！

ファイヤー！

これは何でしょうか!?

「長太郎貝」という貝なんです。

(炎はお料理を提供するときの演出のようです。)

ヒオウギ貝ともいい、ホタテの仲間です。

貝殻が紫、オレンジなど、カラフルでとってもきれいなんです。

この貝を初めて見つけた人が長太郎さんだったという説も（本当かうそかは定かではありません）。

では食レポ。

「アツアツで美味しいけど、ホタテと違うのか!？」

という少し微妙な食レポでした。

貝殻もお猪口になりそうですね。



## 高知の酒②「お座敷遊び（可杯）」

### おそろべし、高知の「おきゃく」

そう、お猪口といえば、高知の可杯（べくはい）。

おかめ、ひょっとこ、天狗の3種類のお猪口が机の上に並んでいます。

歌に合わせて、駒を回して向いた方が、出た絵柄のお猪口で飲むという大変恐ろしい、でも高知のおきゃく（土佐弁で「宴席」）では盛り上がるお座敷遊びです。



♪ べろべろの～神様は～正直の神様よ～お酒の方へおもむきゃれ～・・・♪

それぞれの杯は、飲み切るまで机に置けない形になっており、天狗は鼻の先までお酒が入るので、なかなかの量が入るから大変なんです。

それでは、応援隊の皆さんにお聞きしますが、お酒で失敗したエピソードが何かありますでしょうか？

「東京でよさこいを踊るときに、旗を持って踊ることになっていたんですが、旗を忘れてしまった・・・。」

リハーサルで出たものと違う、大変なエピソードをさらっとご紹介いただき、どこまでも引き出しの多い応援隊の皆さんでした…

ここで、いったん休憩をはさみま～す。

～高知市の暮らし・お仕事について紹介～

～高知のお酒・おつまみについて紹介～

## 参加者の皆さんとの交流会

### よさこい移住応援隊がお答えします！

ここからは、参加者の皆さんからのご質問に応援隊の皆さんがお答えします。

Q1 よさこいの楽しみ方（とても基本的なところですが）

「知り合いが踊っていたら、とても楽しく観られますよ～。」

もし、応援隊が踊っているところを見かけたら、ぜひ「ユズちょこ！」とお声掛けいただければと思います。

「たぶん、汗臭いと思いますが、踊りをやめて一緒に飲みに行きます笑！」

Q2 高知の美味しいスイーツは？

「最近、おみやげ物で塩ラスクがありますが、美味しくて普通におやつで食べたりしますよ。」

「よさこい移住応援隊員がやっているカフェバーで販売している『メルティーバターサンド』もおススメ。高知の特産である土佐茶やユズなどを使ったものなので、ぜひチェックしてみてください！」



Q3 チームが違って交流はありますか？

「今日の応援隊のみんなはチームがバラバラですし、演舞で合流して踊ることもあるので普通に交流してます。」

「高知は踊りじゃなくて祭りだから、みんなが楽しめるのが醍醐味。」

Q4 高知へ移住してよかったこと、残念だったこと

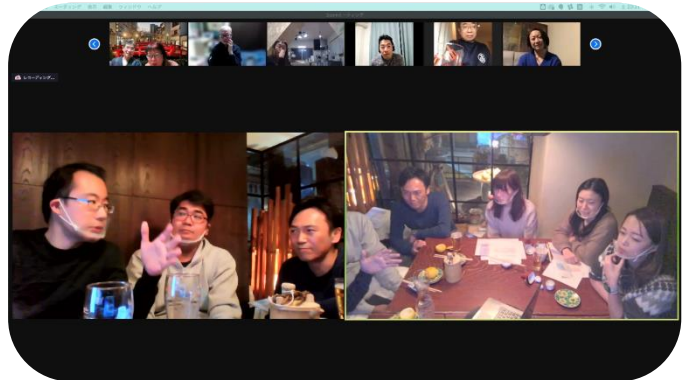
「よさこいが日常・身近にあることがとてもよかった。残念なことは大きな空港が遠いことですかね。」

「確かに身近だけど、最近移住してきてコロナでちゃんと踊れていないというのは少し残念ではあります。」

Q5 よさこい祭りが2年間ないけどモチベーションは？

「よさこいがないなりの生活をしようと思っています。よさこいがあるときに忙しくてできなかったことを今はしていますね。勉強とか。」

「チーム運営側なので、この状況でできることを企画していますね。チーム内でのオンライン飲み会とか。」



「SNSでの交流が激しかったですね。県外とのつながりが強くなった気がします。」

「11月15日には『龍馬生誕祭』が開催され、よさこいも踊りました。久しぶりに。」

「本祭と龍馬生誕祭は祭り感があっていいですね。」

「よさこいは、衣装がチームごとに、一年ごとによって変わって遊び心があります。1年に1回リセットされて、どのチームで踊るか毎年掲示板で選ぶことができるんですね。どうやったら踊ることができますか？と聞かれたら、掲示板を見ましようと言いますね。」

Q6 岸和田のだんじりみたいに、よさこいのために会社を休むことは一般的なのでしょうか？

「会社にもよりますが、一般的ではないので、それなりに休むために準備は必要でしょうね。」

「私は、よさこいを踊るために、8月9日～12日は休むことを会社に最初に告げて、それを認めてくれる会社で就職しました。」

Q7 練習はどうしていますか？

「仕事が終わったらチンで（土佐弁で「すぐに」）帰って着替えて練習に行きます。」

「練習期間は、チームによって3か月間、週6で練習をするところがあれば、練習2日間で本番というところもあります。練習した後に飲みに行ったりするとか、人によっていろんな楽しみ方ができます。」

「ダンスやったことがないから、踊れません、という人がいるけど、よさこいは祭りだから全然大丈夫！」

Q8 高知生まれ高知育ちで、踊ったことがないんですけど・・・どうすれば？（高知出身の進行役）

「そういう方いるんですね～、とりあえず掲示板でチームを選びましょう！」

「移住者は最初知り合いが少ないと思うので、よさこいをやっていけばすぐ友達ができます。」

「1チーム100人ほどいるので、いろんな人と知り合いになれますよね。」

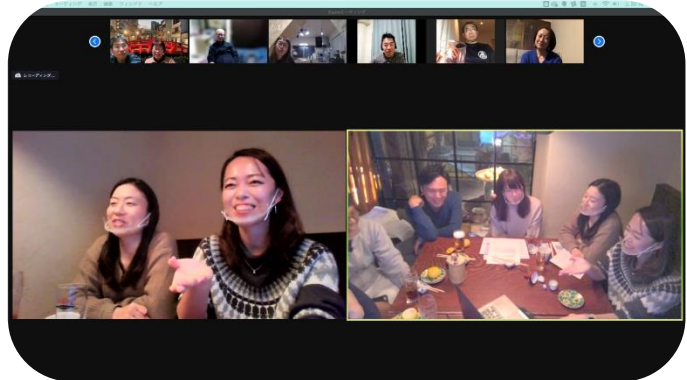
Q9 花メダルをもらったらどうしていますか？

「花メダルをもらったら、とても誇らしいですね！」

「いろんな競演場にメダルはありますが、花メダルは追手筋本部競演場を踊るときに、キラッとしてるな～という人に贈られるメダルで、踊り子にとっては憧れのメダルです！」

「花メダルは家のコルクボードにちゃんと飾ってあります。」

「毎年ほしい、何個でもほしい。でも1チームで数人しかもらえないので、レアです。」



Q10 観客が掛け声をかけられるようにしたらいいのに。

「『とらっくよさこい』というチームは、各競演場・演舞場で踊るときに、『よいさ♪ ほいさ♪ よいさ♪ ほいさ♪』と掛け声をかけるのがお約束になっていて、観客と一緒に盛り上がりますよね。」

「帯屋町のアーケードでは、『よさこい応演舞』の方たちが鳴子うちわを振ってくれる、というのもありますよね。」

このイベントにご参加いただいた「よさこい応演舞」の方にうちわを振っていただきました。ありがとうございました！

話はとても尽きませんが、お時間がきましたのでこのあたりで終了となります。

よさこい移住応援隊のことで知りたいという方は、SNSでも積極的に発信していますので、フォローなどよろしくをお願いします。

最後は、恒例の乾杯で締めたいと思います。

カンパイ よさこい よさこい イエ～イ！ (本日3回目)

ご参加いただきました皆さん、どうもありがとうございました！！

— THE END —